



ふうの木のある学校からⅡ

高鍋町立高鍋西小学校 学校だより 10月 文責 校長

運動会へのご支援・ご協力 ありがとうございました

10月4日(土)の早朝PTA作業、
10月19日(日)当日早朝の準備から片付け
まで、たくさんの方々にご支援・ご協力をいただき、大変ありがとうございました。

まさに、児童・保護者・教職員が三位一体となって運営等に主体的に取り組んでいただいた結果、高鍋西らしい、よりよい運動会を実施することができたと考えています。

子どもたちは、この行事を通して、ねばり強さ、がまん強さ、思いやり等の力(非認知能力)を身に付け、成長することができました。

ここで身に付けた力や成長した態度は、これからの学校や家庭での生活に活かしてこそ意味をもってくるのではないかと思います。

「あいさつを大きな声でする」
「正しい姿勢に心がける」
「早寝・早起き・朝ごはんを心がける」
「家庭でも、縄跳びなどの運動をする」
「自分から進んで学習する」
「友達と教え合ったり、助け合ったりする」
「人任せにせず、自分で行動してみる」
「下級生のお世話をしてみる」
「優しい言葉を使ってみる」
「言葉遣いに気を付けてみる」

等々、子どもたちは、きっとたくさんの想いをもっています。

大きな行事を使って、「伸びしろ」を見付け、見届け、認めていく・・・。

学校だけでなく、保護者の皆さんからも、前向きになれる言葉かけがあることで、さらなる成長をうながすことができます。

家庭読書(うちどく)のススメ

「読書の秋」です。

本年度、高鍋西小学校は「家庭読書」に力を入れています。

昨年度も、子どもたちの読む力を高めるために図書貸出数の増加対策や図書室利活用対策を講じてきましたが、保護者アンケートにおいて、「子どもたちが読書する姿が少ない」等の声をいただいていたいました。

SNSやゲームの影響も考えられますが、まずは「学校だけでなく、家庭でも読書する仕掛けをしよう」ということで取り組んでいます。

一定の文章を読んで、要点をまとめたり、作者の主張をとらえたりする力を付けるには、当たり前のことですが「読んでみること」が大前提です。

周囲の大人が、一緒に読書する(雑誌・絵本でもOK)ことで、「家読(うちどく)」の効果はさらにアップするという研究結果もあります。

ごみ拾い

時々、昼休み等に「バケツ」と「火ばさみ」をもって校舎周辺のごみ拾いをします。

たばこの吸い殻、空き缶、ペットボトル、お菓子の包み紙(袋)等々がバケツ一杯になることもあれば、ただの散歩になる時もあります。

先日運動場を巡回していたら、子どもたちが一緒にごみ拾いをしてくれました。

そういえば、「530(ゴミゼロ)週間」とかの期間があって、大人も子どもも周囲をきれいにしていたことを思い出しました。

危機管理

先日、緊急時に児童を保護者の皆さんに受け渡すための手順について、案内を配付しました。

9月22日に集団下校を行いました、その際の反省や指摘を受けて作成したものです。

地区ごとに集めるよりも、学年学級ごとの方が指示が伝わりやすいこと、緊急とは言え学校が設定した時間通りに送迎することが難しい場合もあること、運動場から講堂への経路や講堂前では混雑が予想されること等、一度訓練を試みなければ分からない部分もあります。

とは言え、緊急時に子どもたちの安心・安全をどう保障するかについて、職員会等でよりよい手立てを様々なに検討したり、PTA 役員さんにも相談したりした結果、ご案内したとおりとなっています。

この手立てを講じる必要がないことが一番いいのですが、「もしも」のことも、しっかり想定しておかれるようお願いいたします。

校長も日々勉強（県外出張）

10月15・16・17日と、福岡県に出張してきました。

九州地区小学校長協議会研究大会で研究発表をするためです。今回、この大会は全国大会を兼ねて行われました。準備をしていたとはいえ、200名近い人数の前で発表をすることになったので、いつになく緊張してしまいました。

私が参加した分科会は、地域や保護者の方々含め学校に関わる全ての人を巻き込んで、学校を活性化する手立てがテーマでした。

全体の講演では「サグラダファミリア」の主任彫刻家 外尾悦郎さんの貴重な話を聞くことができ、とても有意義な3日間となりました。

折に触れて、皆さんにも講演内容等をお知らせできたらと考えています。

餃子（ぎょうざ）大使訪問

毎年の恒例行事となりつつある、小野寺さんの訪問。

近年、宮崎市においても餃子の消費量を宇都宮市（栃木県）や浜松市（静岡県）と競い合っていることは、ご承知のことと思います。

特に高鍋町は、多種多様な餃子を作って提供していることに特徴があるため、小野寺大使も積極的に高鍋餃子のアピールをしています。

去年、子どもたちのサイン攻めにあった反省から、キャラクターシールをたくさん用意して来校されました。たくさん子どもたちから要求に、西小の後に訪問予定の東小の分が足りなくなるというハプニングも起こりました。

灯籠祭りにおいても、商工会の方々と餃子のアピールをされるとのことでしたが、売り上げやいかに？！

寒暖差対策その① 「衣替え」

季節の変わり目。

酷暑から秋の涼しさへの対応はなかなか難しいものです。

朝夕は過ごしやすくなったものの、昼間は、汗ばむほどの気温になります。

扁桃腺やアレルギー等の持病がある場合も、空気の乾燥や周辺の草花に注意を払う必要がありますし、それに備えて薬を用意しておくことも大事な対処方法です。

「衣替え」もそのひとつかもしれません。

子どもたち自身が、半袖から長袖、長袖から半袖と体調等に応じて着衣を切り替えることも、大事な学びだと思っています。

保健や家庭科で学習したことは、こういう時に活用してほしいと思っています。